

2016日台砂防共同研究会シンポジウムを開催しました

近年、日本と台湾は、深層崩壊などの大規模な土砂災害に相次いで見舞われており、土砂災害に対して共通の問題を抱えています。日本と台湾の土砂災害対策に関する技術交流を目的に、「大規模土砂災害と対策」をテーマにシンポジウムを開催しました。

丸谷知己砂防学会長・北海道大学農学研究院特任教授より、基調講演「突発災害研究の課題と動向」を頂き、7名の日本・台湾の行政官・学識者による最新の施策・知見に関する発表がありました。約180名の参加があり、活発な質疑応答・意見交換が行われました。

日時：平成28年7月25日（月） 10:00～17:00

場所：北海道大学農学部本館大講堂

主催：（一社）国際砂防協会

共催：公益社団法人砂防学会

後援：北海道大学農学研究院、北海道大学突発災害防災・減災プロジェクト拠点、北海道、（一社）全国治水砂防協会、（一財）砂防・地すべり技術センター、（一財）砂防フロンティア整備推進機構、北海道砂防ボランティア協会



基調講演 砂防学会長、
北海道大学突発災害防災・減災プロジェクト拠点長
丸谷知己 北海道大学農学研究院特任教授



シンポジウムにおける発表



総合討論



シンポジウム発表者・台湾調査団

本シンポジウムの参加により、（一社）建設コンサルタンツ協会、（公社）砂防学会のCPD認定プログラム5.5単位が認められます。